

中学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第1学年:50時間】

探究課題(例): 世界農業遺産の文化的側面と、その継承のために取り組んでいる組織や人々の思いや願い

単元のねらい: 世界農業遺産についての横断的・総合的な学習を通して、ふるさとの魅力を発見し、世界農業遺産と六郷満山文化との関わりや自分たちと世界農業遺産の文化的つながりを理解するとともに、次世代に継承すべき先人の知恵の深さについての考えをまとめて表現する力を育成し、地域の活動に積極的に参加しようとする態度を育てる。

単元のめあて: 世界農業遺産の文化的側面について考え、継承するためにできることを考え実行しよう

小単元1(15時間)	資質・能力	小単元2(20時間)	資質・能力	小単元3(15時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くにさきの魅力を出し合い共有し、地域のよさを広げていくための課題を見いだす。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えたことや家庭及び地域の人たちに聞き取りをし、ふるさとの魅力を裏付ける理由を収集する。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報を出し合い、KJ法で整理する。 ・世界農業遺産と六郷満山文化との関わりを整理する。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べてまとめたことを共有し、世界農業遺産と六郷満山文化との関わりについて、新たな課題を見いだす。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界農業遺産について調べてみると、六郷満山文化と関係していることが分かった。どちらも歴史が深いけど、いつごろから関係があるのか、もう少し調べてみたい。 	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 課題解決に向けて、互いの特徴を生かして協同的に探究活動に取り組む。</p> <p>事象を比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>調べたことをまとめる中で、新たな疑問や課題を見いだす。</p> <p>課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。</p>	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六郷満山文化について疑問に思ったことを出し合い共有し、世界農業遺産とどのような関係があるのか仮説を立て、課題をつくる。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界農業遺産や六郷満山文化に携わるGTの講話を聴き、両者の歴史と現状についての情報を収集する。 ・パンフレット等からも情報を収集する。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GTの話等から世界農業遺産と六郷満山文化の関わりを明らかにする。 ・両者の関係や、多くの方々に知ってもらいたいことなどを整理する。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人たちに知らせたい内容に応じた表現方法を考える。 ・これまでの学習をまとめ、文化祭で発表する。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界農業遺産と六郷満山文化のつながりが分かった。1300年前に開山したことや、文化遺産や伝統文化などがあることを、もっと多くの人たちに知ってもらいたい。 	<p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。</p> <p>事象を比較したり多面的に検討したりして、課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り、次の学習に生かそうとする。</p>	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに調べてまとめてきた世界農業遺産と六郷満山文化との関わりを踏まえ、地域の農林水産業等の現状から課題を見いだす。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の農林水産業等に従事する人々の願いや要望などを収集する。 ・関係課から情報を収集する。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報を、視点を決めて分類したり、グラフ化したりして成果や問題点を明確にする。 ・問題点に対する解決策やアイデアを出し合い、発信する内容と方法を決める。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに関わった方々や、認定地域内の小学生、中学生を招待して、「世界農業遺産の継承と発展に向けて自分たちにできること」として発表する。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定地域になって有名になっているけど、継承する人が少ないことや、生産を維持するために様々な工夫や努力が必要であることが分かった。 	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて情報を収集する。</p> <p>視点を定めて情報を比較・分類・関連付け、自分たちにできることを考える。</p> <p>相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。</p> <p>地域と自分との関わりを考えながら、積極的に地域の活動に参加する。</p>

【単元の振り返り】(期待する姿)

・自分の住んでいる地域が世界農業遺産の認定地域になっていたことは知っていたけど、これまではあまり興味もなかった。1年間学習してみて、古くから伝わる文化や自然環境、生産に携わる人々の工夫や努力が分かったのと同時に、継承していくための課題も分かった。世界農業遺産の素晴らしさについて、もっと多くの方々に知ってもらおうようにすることや、自然を大事にすることなど、自分にできることは進んでやっていきたい。 など

※国東地区の実践をもとに作成

中学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第1学年:50時間】

探究課題(例): 地域の歴史や文化を生かした町づくり, それらに関わる組織や人々の取組とその意義

単元のねらい: 地域の歴史やまち並みについての探究的な学習を通して, 自分たちのまちの歴史や文化, それらに関わる人々の取組等について理解するとともに, 自分たちとまちとの関わりから課題を見だし, その解決に向けて主体的に情報を収集し目的に応じて比較したり関連付けたりして考える力を育て, 地域の人々の思いや願いと自分とのかかわりを大切にして積極的に行動しようとする態度を育てる。

単元のめあて: 地域に学び, 地域に生きる自分たちが, 地域のために何ができるか考えて行動しよう

小単元1(15時間)	資質・能力	小単元2(20時間)	資質・能力	小単元3(15時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】 ・八面山平和公園が建設された経緯について調べることを通して, 平和に対する地域の人々の思いや自分の考えから, 課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・地域の観光ガイドの方の話を聞いたり, 現地での調査をしたりする。 ・資料の読み取りから, 八面山平和公園の歴史についての情報を収集する。</p> <p>【整理分析】 ・収集した情報を, KWLやマトリクス等で視点を決めて整理し, 地域の方の考えをまとめる。</p> <p>【まとめ・表現】 ・地域の人々の話や調査活動でわかったことに, 自分の思いや考えを加えてまとめる。</p> <p>【振り返り】 ・八面山平和公園について調べてみると, 平和に対する人々の願いや込められた思いが関係していることが分かった。平和について考えたことを, みんなで実行していきたい。公園の歴史も分かったから, 次は自分たちのまちの歴史も調べてみたい。</p>	<p>地域や資料と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて手段を選択し, 情報を収集する。</p> <p>事象を比較したり因果関係を推論したりして考え, 視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>課題解決に向けて, 互いの特徴を生かして協同的に探究活動に取り組む。</p> <p>発信に必要な情報を整理し, 相手に応じた表現方法を考える。</p> <p>学習したことを自分との関わりでまとめる中で, 新たな疑問を見いだす。</p>	<p>【課題の設定】 ・市内の名所やその歴史, まち並みについて調べることを通して, 自分の住むまちのよいところや課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・現地での調査を行い, 見いだした課題の解決に関連する情報を収集する。(まち並みの歴史的背景など)</p> <p>【整理分析】 ・収集した情報を, Yチャート等で視点を決めて分類, 整理し, まちの現在のよさをまとめ, 今後の課題についての解決策(アイデア)を考える。</p> <p>【まとめ・表現】 ・調査してわかったまち並みや歴史のよさや課題について考えたことなどをパンフレット等にまとめる。 ・グループごとに作成したパンフレット等を読み合い, 全体で共有する。</p> <p>【振り返り】 ・市内のまち並みや歴史を調べてみると, これまであまり意識していなかった自分たちのまちのよさが分かった。来年修学旅行に行ったときに, 自分たちのまちのよさをPRしたい。</p>	<p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>目的に応じて手段を選択し, 情報を収集する。</p> <p>課題の解決に向けて, 進んで取り組もうとする。</p> <p>事象を比較したり多面的に検討したりして, 課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り, 次の学習に生かそうとする。</p>	<p>【課題の設定】 ・小単元1で分かった地域の人々の思いや願い, 小単元2で分かった地域のよさや課題から, 将来のまちづくり等について自分たちに何ができるか考える。</p> <p>【情報の収集】 ・地域に住む様々な職業人をGTとして招き, 講話を聞く。(特別活動との関連)</p> <p>【整理分析】 ・GTの講話からわかったこと, 疑問点を整理したり, 小単元1・2で整理したことを比較したりして, 自分たちにできることを考え, ピラミッドチャートで焦点化する。</p> <p>【まとめ・表現】 ・これまでに考えたり取り組んだりしてきたことを踏まえて, まちを大事にすることや自分たちにできることを提案する。</p> <p>【振り返り】 ・地域に住む人々は, まちづくりや環境保全などについて進んで取り組んでいることが分かった。自分にもできそうなことがたくさんあるので, これからは積極的に関わっていきたい。</p>	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>地域に住む人々の生き方から, 自分の将来を考える。</p> <p>視点を定めて情報を比較・分類・関連付け, 自分たちにできることを考える。</p> <p>地域と自分との関わりが分かる。</p> <p>積極的に地域の活動に参画しようとする。</p> <p>これまでの学習を振り返り, 次年度への学習に見通しを持つ。</p>

【単元の振り返り】(期待する姿)

・自分たちのまちには, 古くから伝わるまち並みや歴史があることや, 他の地域にはないよさがあることが分かった。まちのよさを守ろうとしている人たちの思いや願いを聞くことで, 今まであまり気にしていなかったまちのよさや, これからのまちづくりについて考えることができた。これからは, 自分たちのまちをもっとよくなるために, 身近なところからできることに取り組んだり, 地域の行事などにも進んで参加していきたい。 など

※中津地区の実践をもとに作成

中学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第1学年:50時間】

探究課題(例): 地域の〇〇や〇〇などのよさと、それらの維持・継承・発展に取り組む人々の工夫や思い

単元のねらい: 地域の歴史や文化などについての探究的な学習を通して、自分たちのまちの歴史や文化、それらに携わる人々の取組等について理解するとともに、自分たちと地域との関わりから課題を見だし、その解決に向けて主体的・協働的に情報を収集し目的に応じて比較したり関連付けたりして考える力を育て、自分の住む地域に関心を持ち、積極的に関わろうとする態度を育てる。

単元のめあて: 自分たちの地域のよさを見付け、地域を紹介するオリジナルガイドブックを作って紹介しよう

小単元1(10時間)	資質・能力	小単元2(25時間)	資質・能力	小単元3(15時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】 ・自分たちの住んでいる地域について、知っていることや知らないこと、興味があることなどについて出し合い共有することから課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・地域をフィールドワークをしながら、まちのよさについての情報を収集する。</p> <p>【整理分析】 ・収集した情報を、歴史・文化・建造物などの視点を決めて整理し、それぞれのよさや特徴をまとめる。</p> <p>【情報の収集】 ・整理したまちの特徴を地域の方々に紹介しながら、歴史や文化以外の視点から、さらにまちのよさを収集する。 ・観光ガイドブックなどを参考にする。</p> <p>【まとめ・表現】 ・自分たちのまちには歴史や文化など、さまざまなよさがあることが分かった。まちにやってくる観光客は、どのような情報を参考にしているのか。また、自分たちが調べたまちのよさを知っているのか。</p>	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>事象を比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>目的に応じた必要な情報を収集する。</p> <p>学習したことを自分との関わりでまとめる中で、新たな疑問を見いだす。</p>	<p>【情報の収集】 ・まちを訪れた観光客に小単元1で調べたまちのよさを紹介しながら、観光客が求めている情報を収集する。</p> <p>【課題の設定】 ・小単元1でまとめたまちのよさと、観光客が求めている情報を比較して、課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・関係課の方々や、観光ガイドの方からの話を聞く。 ・必要に応じて、フィールドワークを行う。</p> <p>【整理分析】 ・収集した情報を、Yチャート等で視点を決めて分類、整理する。 ・整理したまちのよさを、まちに住んでいる人の視点からランキングする。</p> <p>【まとめ・表現】 ・調べたまちのよさがコンパクトに表現できるように内容を考え、マップに整理したガイドブックを作成する。</p> <p>【振り返り】 ・自分たちの視点で、まちのよさをまとめることができた。まちを訪れた人たちに、このガイドブックでどんどん紹介したい。</p>	<p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。</p> <p>事象を比較したり多面的に検討したりして、課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り、次の学習に生かそうとする。</p>	<p>【課題の設定】 ・ガイドブックを使った効果的な紹介の仕方を考える。</p> <p>【情報の収集】 ・作成したガイドブックを班ごとやクラスごとに見合い、意見やアドバイスを交流する中で、修正点を見いだす。</p> <p>【整理分析】 ・意見やアドバイスを整理し、ガイドブックを修正したり紹介方法を再構成したりする。</p> <p>【まとめ・表現】 ・まちに出かけ、まちを訪れた人々にガイドブックを使って紹介する。 ・必要に応じてまちをガイドする。</p> <p>【振り返り】 ・自分たちが作ったガイドブックが、まちを訪れた人たちに受け入れられてよかった。住んでいる者が勧める場所などにもぜひ行ってもらい、何度もこのまちに来てくれるとうれしい。</p>	<p>まちの紹介に向けての課題をつくる。</p> <p>ガイドブックを見合いながら修正点を見付ける。</p> <p>目的に応じて意見を整理する。</p> <p>相手や目的に応じて表現方法を選択し、効果的に表現する。</p> <p>学習を振り返り、今後の学習や生活に生かす。</p> <p>ふるさとと自分との関わりが分かる。</p>

【単元の振り返り】(期待する姿)

・この学習を通して、自分たちの住むまちのよさを発見できた。自然や歴史、文化や遺跡など、たくさんのよさがあり、多くの方がまちを訪れている。自分たちが調べてまとめたガイドブックが役に立ってうれしい。来年は修学旅行があるので、自分たちのまちと修学旅行先のまちを比べてみたり、修学旅行先でこのガイドブックを配ったりしてみたい。 など

中学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第2学年:70時間】

探究課題(例): 本匠の特産品である因尾茶の特徴と、その生産に携わる組織や人々の工夫や努力、因尾茶を生かした地域活性化の在り方

単元のねらい: 地域の特産品である「因尾茶」についての体験活動や学習を通して、地域の現状や課題を明らかにし、現状から見いだした課題に対して主体的・独創的に考え、将来の本匠地区を想像しながら、地域と自分自身の関わりを大事にし、積極的に地域を発展させようとする意欲を育てる。

単元のめあて: 本匠地区の特産品(因尾茶)をいかに全国に広めるか、その方法を考えよう。

小単元1 25h

【小単元1のめあて】因尾茶について知ろう(20時間)

<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「茶話会」までの取組をしながら、「因尾茶」に対する興味関心を持たせ、それをどうアピールするかを考える。 	<p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 因尾茶についての情報を収集する。 茶畑草取り作業を通して、茶葉の生育状態を知る。 茶摘作業を通して、地域の老人会との関わりをつくとともに、収穫した生茶量を確認する。 	<p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 因尾茶について調べたことや、体験活動を通して分かったこと、考えたことを、視点を決めて整理する。 	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 茶話会を開催し、地域の方を招待する。 茶話会の場において、調べたことや体験活動のまとめを紹介する。 	<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの地域には、古くから生産されている因尾茶があり、地元では多くの人々に親しまれていることが分かった。他の地域でも、因尾茶は知られているかどうか、調べてみたい。
--	---	---	--	--

小単元2 25h

【小単元2のめあて】因尾茶と京都の宇治茶を比較して、因尾茶をPRする方策を考える(25時間+特別活動, 学校行事)

<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 因尾茶をPRするために、どのような取組を進めればよいか。 	<p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅等に訪れている観光客を対象に、因尾茶に関するアンケートをとる。 修学旅行で訪問する宇治茶について調べる。 自主研修において、宇治茶を使ったお土産調査をする。 	<p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果を、視点を決めて分類・整理する。 自主研修で調べた結果を整理し、因尾茶のPRポイントやPR方法を考える。 	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> PRしたい内容をまとめる。 タブレット等のICT機器を使って、因尾茶のPRポイントのプレゼンを作成する。 	<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都の宇治茶と比較することで、因尾茶の特徴が分かった。修学旅行先でお土産としてPRする方法も分かったので、これを参考にして因尾茶PR作戦を考えたい。
---	--	---	---	--

修学旅行との関連(班編成は特活, 修学旅行自体は行事, 自主研修における情報収集活動は総合としてカウントする)

小単元3 20h

【小単元3のめあて】因尾茶PR大作戦!(20時間)

<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 因尾茶の効果的にPRするための取組はどのようなものがよいか。(お茶を使った菓子など) 	<p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの方法についての情報を収集する。(菓子の作り方, 各地のお土産, 京都で調べた品物の作り方など) 実際に作ってみる。 	<p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に作ったものについて視点を決めて分析する。(味, 見た目, コスト等) 改善策を話し合い, 2回目の調理の仕方を考える。 発信の方法を考える。 	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝えたい相手に応じて表現方法を変えながら, 効果的に伝えるように工夫する。 1年間の活動に関わってくれた方々を招待して, 因尾茶サミットを開く。等 	<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの地域にある因尾茶をPRすることができた。いろいろな地域のお茶や, それを使ったお土産などを参考に, 自分たちのアイディアを生かすことができた。もっともっと因尾茶が広がってくれたらいいと思う。
---	--	---	--	--

【単元の振り返り】(期待する姿)

・1年間学習してきて、自分たちの町の特産品である因尾茶のことや、それに携わっている人々の思いや願いがよく分かった。人口がどんどん減っている中で、多くの人たちに親しまれている因尾茶を生産し続けていることがどれほど大変なことなのか、ということも分かった。自分たちが住んでいる本匠の自慢の一つだから、この学習で学んだことを生かして、地域の行事などにも積極的に参加していきたい。 など

中学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第2学年:70時間】

探究課題(例): ○○地域の産業や食などの特徴を生かした地域活性化と、課題の解決に取り組む組織や人々

単元のねらい: 地域を知る(産業, 観光, 食, まちづくり 等)ことによって地域の特徴や課題を見付け, 地域と他の地域(修学旅行等)との比較を通して, 地域活性化のためのアイデアを考え, より一層地域を活性化しようとする意欲を育てる。

単元のめあて: ○○地域をもっと活性化するための提言を考えよう

小単元1(20時間)	資質・能力	小単元2(30時間+特活, 行事)	資質・能力	小単元3(20時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○地域が現在もっている特色や魅力は何か, ウェビングマップでイメージを広げ共有する。 ・広げたイメージから, ○○地域の課題を探り, 単元の課題を設定する。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○地域の特色を調べる。 ・地域の人々からの聞き取り, 各分野の専門家によるテーマ別岳集会を行う。 ・観光客へのインタビューを行う。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KJ法を使って分類する。 ・分野ごとに特色をまとめる。 ・【課題の設定】で見いだした課題と, 整理分析で見いだした事柄を比較して, 課題を再構成する。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○地域の特色や, 今後取り組んでいきたいことについて, 保護者に向けて発表する。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色や課題がわかった。修学旅行先の地域と比べて, いろいろなアイデアを考えたい。 	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>課題の解決に向けて, 進んで取り組もうとしている。</p> <p>目的に応じて手段を選択し, 情報を収集する。</p> <p>課題解決に向けて, 互いの特徴を生かして協同的に探究活動に取り組む。</p> <p>事象を比較したり因果関係を推論したりして考え, 視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>相手に応じて論理的に表現する。</p>	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○地域の特色や課題を踏まえ, 修学旅行先である京都と比較することによって, ○○地域を活性化するヒントを見付ける。 ・京都との共通点, 相違点を探り, 活性化の提言に生かそう。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都の特産やまちづくり等, ○○地域で調べたことと同じ視点で調べる。 ・修学旅行時に実際に見学させてもらえるよう, 各自で依頼する。 ・修学旅行の自主研修で直接見学やインタビュー, 体験などを行う。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行先で収集した情報を整理する。 ・○○地域と比較し, 取り入れられそうな取組などを分類整理する。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○地域の特色と京都の特色を対比させ, 共通点や相違点ができるように表現する。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都の特色やまちづくりの取組が参考になった。修学旅行を生かして, 地域活性化の提言を具体的に考えたい。 	<p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>目的に応じて手段を選択し, 情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班編成, コース選択は特活 ・自主研修での情報収集は総合 ・修学旅行全体は学校行事としてカウント <p>事象を比較したり多面的に検討したりして, 課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り, 次の学習に生かそうとする。</p>	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習や京都での自主研修を踏まえて, ○○地域の未来を考え, 活性化させるための提言を考える。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに蓄積してきたポートフォリオをもとに京都と○○地域を再度比較し, それぞれの特徴や課題解決に向けた取組を整理する。 ・○○地域の現状(産業, 食, 人口, 福祉など)を改めて調査する。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○市への提言を作成する。 ・テーマごとに提言を考える。(まちづくり, 食, 福祉, など) ・提言の内容を考える。 ・より効果的な表現方法を考える。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政関係者, 企業関係者に向けた「○○活性化のための提言」発表会を開催する。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの活性化のために, みんなでアイデアを出し合って提言することができた。それらが実現するとうれしいが, 魅力的なまちにするためにできることを, これからも考えていきたい。 	<p>目的に応じて情報を収集する。</p> <p>視点を定めて情報を比較・分類・関連付け, 提言を考える。</p> <p>相手や目的, 意図に応じて論理的に表現する。</p> <p>地域と自分との関わりを考えながら, 積極的に地域の活動に参加する。</p>

【単元の振り返り】(期待する姿)

・地域の活性化に向けた提言を考える中で, 自分たちのまちの特色が分かった。特に, 京都と比較することで, 今まで意識していなかった自分たちのまちのよさや, 「もっと～したらいいのに」という思いが出てきた。私たちの住んでいるまちは, 水産業や農業など有名だけど, それらをPRしたり発信したりすれば, もっと多くの人たちに来てもらえるだろうし, 地域のよさについて自分たちがもっともっと知っておくことも大事なことなんだと感じた。これからは, 地域の行事などにも積極的に参加していきたい。 など。 ※佐伯地区の実践をもとに作成

中学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第2学年:70時間】

探究課題(例): 地域の食や歴史及び安全なまちづくりとその取組(町づくり, 防災) ※年間2単元で構成

【ねらい】地域に根付いてきた食文化や歴史を学ぶ活動を通して、その背景や特徴を知り、それらに携わる人々の思いや願いを理解するとともに、課題の解決に向けて主体的・協働的に取り組む態度を育て、郷土を大切にしようとする態度を育てる。(45時間)			【ねらい】津波災害に対する住民の目から見た防災パンフレットを作成する活動を通して、地域環境の現状と課題を明らかにし、防災への意識を高める。(25時間)		
【単元のめあて】地域の食や歴史について調べ、もっと大切にしようとするための取組を考えて実行しよう			【単元のめあて】自分たちの命を守るための取組を進めよう		
主な学習活動(20時間)	資質・能力	主な学習活動(25時間+特活, 行事)	資質・能力	主な学習活動(25時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】 ・地域の食材を生かした料理を調べ、ランキング等で選択した中から、課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・地域の方や家庭で郷土料理についての聞き取りをし、レシピやその料理が誕生した背景、調理上の工夫などについての情報を収集する。 ・その料理のことを知っているかどうか、道の駅などでインタビューする。</p> <p>【整理分析】 ・GTの講話や調べてきたことを、YチャートやXチャートなどで、視点を決めて整理する。 ・伝えたいことをランキングやマトリックスなどで決定する。</p> <p>【まとめ・表現】 ・伝えたいことが効果的に表現できる方法を考え、郷土料理についての作品集を作成し配布する。</p> <p>【振り返り】 ・あつめしやごまだしなどの特徴的な料理が生まれた背景が分かった。調べたものはどれもおいしいものなので、多くの人に食べてもらいたい。古くからあるみたいだから、食以外の歴史も調べてみたい。</p>	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>課題解決に向けて、互いの特徴を生かして協働的に探究活動に取り組む。</p> <p>事象を比較したり分類したりして、視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>相手に応じて効果的に表現する。</p> <p>学習の仕方を振り返り、自分の生活に生かそうとしている。</p>	<p>【課題の設定】 ・食文化の学習から歴史に目を向け、地域の歴史についての関心を持つ。 ・歴史に詳しいGTの講話からポイントを整理し、地域の歴史についての課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・地域の文化財、歴史、建造物、文化遺産等の情報を収集する。 ・京都や奈良では歴史や文化を守るためにどのような取組をしているのか、修学旅行を通して探る。</p> <p>【整理分析】 ・修旅行先で収集した情報を整理する。 ・収集した情報をKWLや座標軸で分類・整理し、伝えたい内容を定める。</p> <p>【まとめ・表現】 ・調査した内容と、歴史や文化を守るために自分たちにできること、修学旅行先との比較などをまとめて発信する。</p> <p>【振り返り】 ・地域の食同様、歴史や文化も様々なものが残っていることが分かった。京都や奈良での取組を参考にすれば、地域の歴史や文化などをみんなが大切にしてくれるのではないだろうか。</p>	<p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 ・班編成、コース選択は特活 ・自主研修での情報収集は総合 ・修学旅行全体は学校行事としてカウント</p> <p>事象を比較したり多面的に検討したりして、課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り、次の学習に生かそうとする。</p>	<p>【課題の設定】 ・市から配布された防災マップを読み取り、自分たちの地域の現状と課題を見いだす。</p> <p>【情報の収集】 ・防災の専門家、防災士、地区の代表の方から、地域の防災体制や災害時の行動についての話を聞く。 ・地域の方々に、災害時の備えなどについて尋ねる。 ・避難所へのルートを歩き、整備状況や危険箇所などを調査する。</p> <p>【整理分析】 ・各地区の津波への防災・減災の取組の特徴を視点を決めて整理する。 ・避難所へのルート等をマップにまとめる。</p> <p>【まとめ・表現】 ・取り組んできたことをまとめ、防災パンフレットを作成して配布する。</p> <p>【振り返り】 ・自分の命は自分で守ることの大切さを実感した。地域の人たちが、みんなの命を守るための取組を進めていて、自分の家はどうしていたかなとふと思った。しっかり準備していきたい。</p>	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて情報を収集する。</p> <p>視点を定めて情報を比較・分類・関連付けて整理する。</p> <p>相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。</p>
【単元の振り返り】(期待する姿) ・自分たちの地域には、さまざまな食や歴史、文化が根付いていることが分かった。それに関わって、食文化を広げようとしたり、歴史や文化を守ろうとしている人たちの取組も分かった。普段あまり気にしていなかったことを深く学習することができたので、これからはもっと大切にしていきたいと思った。 など			【単元の振り返り】(期待する姿) 地域の防災の取組を学んで、自分自身のことを見直した。もっと意識を持って、自分の命を自分で守るようにしていきたい。		

中学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第3学年:70時間】

探究課題(例): 自分たちのふるさとの特徴と、そこに生きる人々が大切にしている文化などを生かしたまちづくりの意義

単元のねらい: 「ふるさと犬飼」に生きる人々やジオパークについての探究的な学習を通して、ふるさとの特徴を理解し、その中から課題を見だし、解決に向けて主体的・協動的に情報を収集し目的に応じて整理したり関連付けたりして考える力を育てるとともに、自分と地域との関わりを考えながら今後の自分や地域の将来の在り方を考えようとする態度を養う。

単元のめあて: 自分たちのふるさと犬飼の活性化に向けた取り組みを考え、みんなを巻き込んで行動しよう

小単元1(20時間)	資質・能力	小単元2(30時間)	資質・能力	小単元3(20時間)	資質・能力
<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと犬飼や豊後大野市のジオパークと中学生アンケートの結果から、地域の現状を明らかにする。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地形、地質、自然、文化等に関わる地域の人々に話を聴き、ふるさとやジオパークに関する情報を収集する。 現地を見学する。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報をKJ法等で整理し、ふるさとの特徴をまとめる。 ふるさとのよさを生かす方策や、ふるさとの課題を解決するアイデアを考える。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことをまとめて共有する。 共有したことから、わかったことや疑問に思うことを整理する。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさとは様々なよさや課題があることが分かった。活性化に向けた取組を考えるためには、ふるさとの課題についてもっと深く調べたり考えたりする必要があると思う。 	<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>視点を定めて多様な情報を整理する。</p> <p>学習したことを自分との関わりでまとめる中で、新たな疑問を見いだす。</p> <p>学習を振り返り、次の課題を見いだして進んで取り組もうとする。</p>	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小単元1で設定したテーマをについて、関連性のある内容ごとに班編成し、課題を設定する。 ◆自然を守るためには ◆ジオパークの歴史と見所は ◆犬飼の鮎の楽しみ方 など <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 班ごとに必要な情報を収集する。 関係課や携わっている人々に話を聞く。必要に応じて体験活動を行う。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を、Yチャート等で視点を決めて分類、整理する。 小単元1で考えた方策やアイデアを見直す。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 班ごとに調べてまとめた情報に自分たちの考えを加え、「ジオパークの楽しみ方」新聞(パンフレット)にまとめる。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとつのテーマにしぼって調べたり考えたりしたことで、さらにジオパークのよさが分かった。 	<p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。</p> <p>事象を比較したり多面的に検討したりして、課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り、次の学習に生かそうとする。</p>	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小単元2でまとめた内容をもとに、「ジオパークを生かした町おこし」をテーマに課題を設定する。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他地域の町おこしの事例から、必要な情報を収集する。 地域の方からも、町おこしをテーマにしたアイデアを収集する。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を整理し、「自分たちでできる」「関係者と連携が必要」「すぐに取り組むことができる」等の視点で分析する。 これまでの取組の成果と課題を整理して、発信する内容と方法を考える。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ジオパークを生かした町おこしのPR動画を作成したり、町おこしアイデアをまとめて関係課にプレゼンテーションする。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが考えたアイデアを提案することができた。PR動画を多くの人たちに見てもらって、ジオパークに遊びに来てくれる人たちが増えるとうれしい。 	<p>これまでの学習を関連付け、課題を設定する。</p> <p>目的をはっきりさせて必要な情報を収集する。</p> <p>視点を定めて比較したり分類したりして情報を分析する。</p> <p>相手や目的に応じて表現方法を選択し、効果的に表現する。</p> <p>ふるさとと自分との関わりが分かり、地域の活動に進んで参加しようとする。</p>

【単元の振り返り】(期待する姿)

・自分たちのふるさとがジオパークに認定されていたことは知っていたが、どのような特徴やよさがあるのか、この学習を通して学ぶことができた。実際に調べたり体験したりしたこと、みんなでアイデアを考えたり話し合ったりすることがとても楽しかった。将来、ふるさとを離れて生活することもあると思うけど、そこで出会った人たちに私のふるさとを自慢したい。 など